

中泊町の新・ご当地グルメ第3弾がデビュー

中泊トマト海鮮ラーメン

中泊メバル料理推進協議会(会長・中畑哲也)は、新・ご当地グルメの第3弾完成披露発表会を3月22日(月)に総合文化センター「パルナス」で開きました。

新・ご当地グルメ「中泊メバルの刺身と煮つけ膳」、「中泊メバルちゃんこ鍋」に続く第3弾の名は「中泊トマト海鮮ラーメン(愛称:トマ鮮ラーメン)」です。地元産のトマトを贅沢に使ったスープに、新開発のメバルソーセージと同じく新開発のイカ天かまぼこがトッピングされ、農業と漁業が盛んな中泊町を体現する一杯に出来上がっています。

完成披露発表会で中畑会長は「渾身を込めた自信作を、ぜひ皆さんの皆さまに味わっていただきたい」とあいさつしました。プロデューサーを務めたヒロ中田さん(じゃらんリサーチセンター客員研究員)は「納得のいく味にたどり着くまで、幾度も開発会議を重ねた。関係者の皆さんが粘り強く取り組んだおかげで、満足の一杯に仕上がった」と太鼓判を押しました。

完成披露発表会後には試食会も行われ、関係者らが試食しました。濱館町長は「気軽に食べられるラーメンが、新・ご当地グルメに加わった。県内でも珍しいトマトスープのラーメンは、驚きの完成度に仕上がっているので、ぜひ食べてほしい」と話しました。

「中泊トマト海鮮ラーメン」は3月23日(火)から町内4店舗で提供され、値段は全店880円(税込)です。

◆提供店舗

- ・くつろぎダイニング哲。
- ・特産物直売所ピュア
- ・しみ亭奈良屋
- ・道の駅こどもり レストラン竜泊



新・ご当地みやげ高級缶詰シリーズ第2弾!!

津軽海峡メバルのフィッシュボールシチュー
「中泊メバチュー」完成!

中泊メバル料理推進協議会(会長・中畑哲也)は3月15日(月)、新・ご当地みやげ高級缶詰シリーズ第2弾となる「中泊メバチュー」の完成披露会を役場で開きました。

「中泊メバチュー」は、津軽海峡メバルのアヒージョ「中泊メバージョ」に続く高級缶詰シリーズ第2弾です。メバルのすり身をミートボール風に仕上げた「フィッシュボール」3個とデミグラスソースが入っており、そのまま温めて食べたり、パンをつけたり、パスタと絡めたりと、多彩なアレンジが可能な1品です。

濱館町長は「メバルの濃厚な味わいが、赤ワインによくあうと思う。どこまでも成長するメバル商品に期待している」と話しました。中畑会長も「高級缶詰という言葉以上に、深みのある味わいがおすすです」と話し、プロデュースを手掛けたヒロ中田さん(じゃらんリサーチセンター客員研究員)は「アレンジの幅も広く、家庭で楽しめるお土産になったと思う」と話しました。



たくさんのお祝いの花に囲まれて

田中セツさんが100歳顕彰

たくさんのお花や贈答品に囲まれて3月22日(月)、田中セツさんが入所先のグループホーム八幡荘で100歳の誕生日を迎えました。田中さんは若くして夫を戦争で亡くしてしまいましたが、1人で子ども3人を育て上げました。また、編み物や畑仕事を好み、入所するまでは毎日、庭や畑の手入れをしていたそうです。

濱館町長から顕彰状と祝い金が手渡され、また家族や施設職員からも記念品が贈られた田中さんは「とてもうれしい。胸がいっぱい」と喜びの言葉を述べました。次男の田中茂さんは「育ててくれたことに、改めてお礼を言いたい」と感謝の言葉を述べていました。

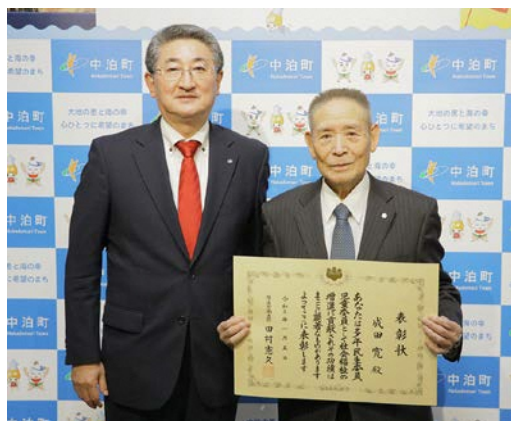


20年以上の功績をたたえて

成田寛さんが大臣特別表彰

長年にわたって民生・児童委員を務めた成田寛さんのその功績をたたえた厚生労働大臣特別表彰の授与式が3月26日(金)に行われました。民生・児童委員は各地域のよき相談相手となってくれる人たちで、福祉関係の悩みなどの相談を受けます。

濱館町長は「長きにわたるご活躍に感謝いたします」と厚生労働大臣からの表彰状を手渡し、成田さんは「地域に寄り添うことを第一に取り組んできた。支えてくれた皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです」と喜びの言葉を述べました。



生産者の出荷の一助に

地域連絡バスを使う県実証実験

生産者の高齢化によって、出荷に課題が生じていることから、県が取り組む「産直と高齢農家をつなぐ『食の輪』づくり推進事業」の一環として、町地域連絡バスの荷室を使った集荷の試験が3月4日(木)に行われました。この日は、小泊地域出発便に荷物を積み込み、町特産物直売所「ピュア」へ搬入されました。出荷・集荷に関わった人たち双方から「かかる時間が少なくて便利」と好評の声が上がっていました。令和3年度も、同様の実証実験が行われる見通しで、既存の輸送手段を活用した集出荷作業の効率化に期待が寄せられます。



まだまだ働ける人とマッチングを

シニア世代を対象に仕事紹介

就業に関心があるシニア世代を対象に、中泊町生涯現役いきいき活躍プロジェクト協議会は3月8日(月)に総合文化センターパルナスで、「おしごと説明会」を開きました。

同協議会は、国の生涯現役促進地域連携事業を受託した町や社会福祉協議会などの関係団体で構成され、労働力不足解消を視野に、働く意欲があるシニア世代の就業支援に取り組んでいます。説明会では8企業が参加し、自社の取り組みをPR。各企業ブースでは、関心を持った企業へ足を運ぶ参加者の姿が見られました。小泊地域から参加した人は「家庭環境が変わっても、まだまだ働きたい思いがあって参加した。いろいろな企業の話をして良かった」と話しました。

